

# 学生募集要項 目次

01 建学の理念、基本理念、教育方針

02 アドミッション・ポリシー

03 入学者選抜の基本方針、2024年度入学者選抜のポイント

04 2024(令和6)年度九州看護福祉大学入学者選抜概要

06 総合型選抜[一般枠・地域枠]

09 学校推薦型選抜  
(A日程・B日程・福祉科特別推薦・スポーツ系特別推薦)

13 一般選抜  
(前期日程・後期日程)

18 大学入学共通テスト利用選抜  
(前期日程・後期日程)

23 特別選抜(社会人)

26 共通事項  
1.入学検定料 2.出願の流れについて 3.インターネット出願ガイド 4.受験上の注意 5.試験会場および交通機関 6.合格発表  
7.その他(長期履修学生制度、2024(令和6)年度入学者選抜の成績開示について)

37 入学手続、奨学金等  
1.入学金・授業料等 2.奨学制度・修学支援制度・特待生制度 3.高等教育の修学支援新制度 4.外国人留学生授業料減免制度 5.入学前教育

43 出願書類・その他  
推薦書/大学入学希望理由書/活動報告書(総合型選抜)/活動報告書(特別選抜)/活動調書(調査書が提出できない者)

## 個人情報の取扱いについて

九州看護福祉大学では、個人情報の重要性を認識し、取得した個人情報については、以下の目的またはその他の正当な目的にのみ利用いたします。

### 1. 個人情報の利用目的

本学入学者選抜志願票に記載された出願者の氏名、住所、その他の個人情報は、入学者の選抜、入学手続およびクラス編成などの業務に使用します。また、資料請求等で得た個人情報は、本学を希望される方、または、本学に関心をもたれた方への大学案内等の送付や情報提供に利用します。なお、個人を特定しない各種統計資料の作成に利用させていただくことがあります。

### 2. 個人情報の第三者への開示

九州看護福祉大学では、提供者本人に通知することなく個人情報を第三者に開示することはありません。

## 建学の理念

現代の生活者が求めているものは、医療がその原点に立ち返ることである。医療の原点とは、ただ病を治すことだけではなく、生活の中で病をとらえ、生活を通して病を克服し、さらに病にならないような健康な生活をつくりだすこと、そのための全人的援助である。すなわち人々は、医療が施設から出て自分たちの生活の中に入ってきて、その生活を心身共に援助してくれることを待望している。

言うまでもなく、そのような援助の中核となるものは、社会生活への看護福祉であり、それは勝義には看護福祉活動と称すべきものである。ここに従来の看護と福祉とが出会い、一つの統合的活動となる必然性がある。

九州看護福祉大学の設立は、こうした生活する人々の渴望に呼応して立案されたものであって、その目的は看護福祉活動についての研究及び人間的知見と能力を有した人材を育てることにある。

本学が設立されるこの地は九州の中域に位し、その教育研究活動が九州全域に翼を広げることのできる最適の地である。したがって、当地は九州の全域から人材を集め、かつ、育成することのできる要所であり、看護福祉の教育研究が発展し得る拠点となり得るものである。本学は、この地に屹立して我が熊本県城北地域の人々の看護福祉に貢献し、さらには我が国の看護福祉活動に新しい方向を示し、ひいては展望を切り開くことを目指すものである。

かくして、本学は、その教育と研究において地域の人々への全人的看護福祉活動を基盤としながら、九州全域にわたる、さらには我が国の全体にわたる看護福祉活動をも射程に入れるという目標をもち、これを以て建学の理念とするものである。

## 3つの基本理念

1. 「地域とともに成長する大学」
2. 「生涯にわたって学べる大学」
3. 「近隣諸国と学ぶ大学」

## 5つの教育方針

1. 「こころ」豊かな人間性を培い、個性を尊重する精神を養う
2. 患者並びにクライアントとコ・メディカルスペシャリストとの間の人間関係と信頼性を確保する
3. 論理的・学際的思考力を育成し、適切、かつ、柔軟性に富んだ判断力と分析力を養う
4. 国際的な幅広い視点に立ち、最新の情報収集と情報発信能力を培うとともに、国際感覚の習得と創造的・意欲的な活動力を育成する
5. 保健・医療・福祉に関する最新の知識と技術水準を向上させる

# アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

## 看護福祉学部

九州看護福祉大学は、ただ病を治すことだけではなく、生活の中で病をとらえ、生活を通して病を克服し、さらに病にならないような健康な生活をつくりだすこと、そのための全人的援助を多職種協働による統合的活動として実践できる人材の育成を建学の理念に掲げています。将来にわたって、人間の尊厳に基づく豊かな教養と高度な専門的知識・技能を備え、保健・医療・福祉のスタッフとして活動するとともに、熊本県城北地域をはじめ広く社会に貢献できる質の高い専門職養成を目指しています。

以上の観点から、本学は次のような人を求めています。

- ① 修学に必要な基礎学力を持ち、科学的探究心と情報発信力を備えている人
- ② 論理的思考力を基盤として、柔軟性に富んだ判断力を身につけることのできる人
- ③ 人間の尊厳を重んじ、保健・医療・福祉を生涯の学びの場とする学習意欲を持っている人
- ④ ヒューマン・ケアのチームの一員として協動的に人間関係を築くことのできる人
- ⑤ 地域社会や人々とのコミュニケーションを大切にし、多様な価値観を受け入れる寛容性を持てる人

### 看護学科

学科の目的は、全人的(身体的・精神的・社会的)支援を必要としている人のために寄与できる看護の専門家を育成することです。そこで本学科は、次のような人を求めています。

- ① 人間の尊厳を重んじ、誠実に対応できる人
- ② 多様な価値観を受け入れることができる人
- ③ 保健・医療・福祉の仕事に興味関心がある人
- ④ チームの一員として行動できる人
- ⑤ 科学的探究心と問題解決意欲を備えている人
- ⑥ 自分の決断に責任を持ち、行動できる人

### 社会福祉学科

毎日の暮らしの中で様々な“困りごと”を抱えた人々が、社会の一員として安心して暮らすことができるように“生活者”の視点に立って支援してゆくこと、それが社会福祉専門職あるいは社会福祉に携わる実践者の役割です。そうした人材を養成し、地域に送り出してゆぐために、社会福祉学科は次のような人々を求めています。

- ① 人々に温かな気持ちと思いやりを持ち、多様な価値観を受け入れつつ人々に役立つために行動したい人
- ② 社会福祉の理念やソーシャルワークの技法を学び、それらを活かして地域社会に貢献したい人
- ③ 社会福祉領域や教育の資格を取得して、様々な現場で多職種と連携しつつ専門的な支援を行いたい人
- ④ 児童、高齢者、障がい者など、支援が必要な状態にある人々のため、継続して実践を行いたい人
- ⑤ 社会福祉の理念、知識、視点をもとに教育、一般企業での活躍を目指したい人
- ⑥ 過疎地域の人々の福祉や災害時の緊急援助、海外における国際協力活動などにも関心を持っている人
- ⑦ 社会福祉領域の知見を用いることで、教育現場における子どもたちの生活・学習環境の改善に資することを希望する人

### リハビリテーション学科

医療人としての原点は、人を愛することです。豊かな感性と思いやりの心で人に接することができ、健康への道のりを強い情熱で共に歩いてゆける人材を求めます。また、医療を取り囲む刻々と変化する社会情勢や関連領域の科学に対応するために、広く柔軟な思考力と秀でた分析力を持つことも必要です。このため、以下のような学生を本学科は望んでいます。

- ① 尊厳と愛情の心で人に接することができる。
- ② 常に変化・進化している医療科学を理解し、それに適応できる。
- ③ 理学療法の専門職としての知識・技術を生かすとともに、社会と積極的に関わることで健康医療福祉チームの一員としての責任を発揮できる。
- ④ 地域社会に関心を持ち、コミュニケーションや活動を通して地域社会への関わりを大切にする。

### 鍼灸スポーツ学科

鍼灸スポーツ学科は、その対象者である“人”を理解することを基本に、鍼灸伝統医学及びスポーツ医学を主体とした保健・医療・福祉に関する専門的で高度な知識、技術についての教育研究を行い、広い視野と良識ある教養を持ち、医学的・科学的検証に必要な知識及び判断力を有し、対象者への対応能力に優れた人材を養成することを目的とします。

- ① 科学的探究心と自己向上心に溢れ、豊かな個性と明確な意思を持つ人
- ② 医療の原点は「人間愛」であることを理解し、その心を持つ人
- ③ 鍼灸治療やスポーツ医学に反映できるような分析力、柔軟性、協調性を持つ人
- ④ 統合医療を担う者として、人々の健康な生活を支える意志と責任感のある人
- ⑤ 鍼灸伝統医学を研鑽する豊かな感性と知性を持つ人
- ⑥ 地域社会から国際社会まで、環境や状況を問わず自立した心と行動力のある人

### 口腔保健学科

多様化する健康観とQOL(生活の質)の向上のために、“人を感じる力”、“支援力”をもとに口腔保健が持つ理論と技能を、人間のライフステージ(発達)や生活の場であるコミュニティ(地域・共同体)に応じて発揮できる人材を育成します。そこで、本学科では次のような人を求めています。

- ① 豊かな人間性を持ち、人々の多様な健康観を理解し、共有しようとする態度を身に付けることのできる人
- ② 心身の成長発達過程や生活者としての人間のありように深い関心を持ち、それらをもとに口腔保健学の高度な技術を用いて支援したい人
- ③ 論理的思考力を備え、口腔保健学の研究・教育を科学的探究心によって先導し、ヒューマン・ケアにおける新しい口腔保健活動を展開したい人